



通じ合えるって、うれしい。

高齢による
難聴のご利用者との
関係を深める
コミュニケーション研修



社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会



補聴器を付ければ
聞こえるでしょ？

超高齢化の日本で難聴の自覚がある人

約 **2,000 万人**



誰もが聞こえにくくなったり
聞こえなくなる可能性があります

実は...困ることだらけ。

接遇研修で難聴のご利用者さまへの対応を学びませんか

接遇とは？

相手の事情や気持ちに寄り添い
態度や言葉づかいなどで
ふれあいもてなす対人技術。

- ☑ STEP 1 加齢により聞こえにくくなる「難聴」を理解する
- ☑ STEP 2 難聴のご利用者さまひとりひとりへのコミュニケーションを考える
- ☑ STEP 3 現場の状況を踏まえた実践型研修で、受講者の具体的行動を促す
- ☑ STEP 4 人権に対する配慮、CSR「企業の社会的責任」を果たす

研修例 高齢者難聴＝ご利用者さまのことを理解する

目的	おもな内容	時間	価格
高齢者難聴 を知る	○高齢者難聴とそのコミュニケーション ○補聴器の扱い方 ○情報支援機器の紹介 など <u>難聴のご利用者さまと</u> <u>コミュニケーションを深める</u>	1 回 1 時間～	1 回 30,000 円 人数関係なく

